

平和カップ 2025in 広島（パラグライダー競技） 大会競技規定

本大会は、（社）日本ハング・パラグライディング連盟の 2025 年度パラグライディング公認大会規則、パラグライディング ジャパン 2 リーグ(PJ2L)規定を基本とし、一部を変更したルールで行う。

本大会は J2 リーグ対象の大会ではない。J2 リーグのランキングなどに関するルールは適用外とする。

- パラグライディング公認大会規定

https://jhf.hangpara.or.jp/pgc/files/rules/2025/JHF_Authorized_Competition_Rules.pdf

- パラグライディング ジャパン 2 リーグ (PJ2L) 規定

https://jhf.hangpara.or.jp/pgc/files/rules/2025/Paragliding_Japan2_League_Rules.pdf

上記の規定に、追加、変更されるローカルルールは、以下の点である。

◎ ローカルルール

● 総合順位とスポーツクラス順位、大会参加機体

本大会では、**JHF 公認大会規則追加の定めるシリアル機**と **CCC 適合機**が使用できる。この範囲で、グライダー制限を設けない大会参加者全員による「総合順位」と、J2 対応の機体を使用した選手による「スポーツクラス順位」の 2 つの順位の成績をつける。表彰は「総合順位」「スポーツクラス順位」「女子総合順位」の 3 位まで行う。

J2 対応の機体とは、おおむね LTF, DHV (1, 1-2, 2), AFNOR (スタンダード), EN (A, B, C) のグライダーである。（詳しくは、PJ2L 規定を参照）

● 本大会のセレクション

本大会は**ランキングなどでのセレクションは行わない**。安全上の理由で参加人数を制限する場合は、残りの参加者を、**参加申し込み順で受け付ける**。（参加申し込みは「参加費の振込み」と「Web 大会申し込み」の両方を行った時点で完了する）参加申し込みが大会受付人数を上回る場合、申し込み締切日より以前に、大会参加受付を早期に締め切る場合がある。

● 第 3 者とのトラブル処理と報告の義務

アウトサイドランディングで被害を与えるなどして、第 3 者とトラブルが発生した場合は、選手自身の責任で適切に対処すること（謝罪と被害の補償）。また、同時に、速やかに大会本部に報告すること。重大なトラブル発生や、不適切な対処、本部への速やかな報告がない場合は、タスク失格、又は、大会失格にする。トラブルのない場合も、場所と状況をタスクレポートで報告すること。（軽微な被害で、適切な対処によりトラブルがない場合は減点しない。）

● アウトサイドランディング

地主とのトラブル発生が予想される特定の場所（ランディング近くの民家や田畑の周辺を含む）はアウトサイドランディング禁止とする。それ以外の競技フライト中のアウトサイドランディングは、無被害でトラブルが発生していない場合、罰則は設けないが、できるだけ指定地にランディングすること。指定

地以外にアウトサイドランディングする場合は、できるだけ、川土手、河原、交通量の少ない道路、トラブルの発生しにくい空き地などへ、安全にランディングすること。休耕田など私有地へのランディングは、無被害でもトラブルの原因になりやすいので、できるだけ避けること。やむを得ず、休耕田などに降りる場合は、一箇所に集中して降りない、あぜを壊さない、適切な場所で機体を畳む、地主への適切な対応するなどの配慮をすること。基本的にフライト距離はベストポジションを採用するが、採用しない場合はタスク発表時に指定する。

- 携帯電話と上空用デジタル簡易無線機

競技中、緊急時の連絡手段として、携帯電話と上空用デジタル簡易無線機を携帯すること。競技飛行中は、上空用デジタル簡易無線機（指定チャンネル）を送受信可能な状態にしておくこと。上空用デジタル簡易無線機（指定チャンネル）は、飛行中や携帯電話が使用できない状況で、緊急事態に遭遇した場合にのみ発信すること。本部へのランディング報告、回収要請は、携帯電話で行うこと（飛行中の全選手が聞いているため上空用デジタル簡易無線機（指定チャンネル）は緊急時以外に使わないこと）。ランディング後に回収が必要な場合は、競技中とは別の指定の回収用チャンネルで受信可能にしておくこと。その他の無線は、大会の公式の通信手段としない。

- テイクオフ

テイクオフのゲート内へ入る優先順番は、くじ引きにより決定する。機体、ハーネスを装着してからゲート内に入ること。ゲート内に入る人数とタイミングは、テイクオフディレクターの指示に従うこと。ゲート内に入ったら、機体のセットアップ行い、テイクオフディレクターの指示後、速やかに(約 30 秒)でテイクオフを行うこと。テイクオフ中止は2回以内とする。3回目でテイクオフできない場合は、ゲートを出て、待ち行列の最後尾に並ぶこと（優先順番は失う）。その他、テイクオフ前が混雑したときは、安全確保のために、テイクオフディレクターがゲートを一時的にクローズする場合がある。

- 成績に対する不服、抗議の受付時間

成績に対する不服、抗議の受付時間は、**最終日以外の成績については翌日朝の受付開始時間の 30 分前まで、最終日の成績については成績仮発表後 10 分までとする。**ただし、競技委員長は、タスクコミッティーの了解を得て、不服、抗議の受付時間を変更できる。

- 抗議のための供託金

正式な抗議のための、供託金は1万円とする。

- リフライト

リフライトを認めるかどうかは、タスクごとに決定し、タスクブリーフィングで発表する。リフライトの最大回数は1回とする。リフライトカーは、決められたランディング場所からのみ発車する。タスクのスタートポイントなど指定されたターンポイントを取っていない場合のみ、リフライトを認める。

- 競技内容

タスクごとに、エラプスタイム(スピードラン)、ゴールレースのいずれかを行う。気象条件により、賞品分配のための、正式順位とは関係ない競技(ターゲットなど)を行うことがある。

- スコアリング(得点計算)

得点計算には GAP2018 を採用する。GAP パラメータは、ミニマム距離 4km, ノミナル距離 15km, ノミナルタイム 0.5h, ノミナルゴール 10%とする。パラメータの変更がある場合は、タスク開始前に、ブリーフィングで選手に通知する。

- ターポイントデータ,トラックログ(IGC ファイル), GPS と接続ケーブル

選手自身で、事前に大会ホームページにあるターンポイントを GPS に入れること(受付でサポートあり)。

選手自身で、フライト後に GPS のトラックログ(IGC ファイル)を、指定時刻までに、大会ホームページにアップロードすること(受付でサポートあり, WiFi と PC を受付に設置予定)。

本大会の GPS 判定は、FS と GpsDump により行う。本大会で使用可能な GPS は、GpsDump などのアプリやストレージのファイル操作で、ターンポイントデータとトラックログ(IGC ファイル)が正しくアップロード、ダウンロードできる機種に限る(Android スマートフォン+XCTrack 推奨)。PC と GPS を接続するケーブルは、大会主催者で USB ケーブル(mini/micro/C)を用意しているが、それ以外は、各選手で自分の GPS に適合する PC 接続ケーブルを用意すること。

FS <http://fs.fai.org/>

GpsDump http://www.gpsdump.no/body_gpsdump.htm

提出されたトラックログに不備・不具合・疑義があることが分かった場合は、指定時刻までに GPS の提出が求められる。

- 選手の移動車両

テイクオフへの移動は基本的に選手の車での乗り合わせをお願いします。一定数の移動用、回収用、リフライト用の車も用意しますが、台数に限りがあり、移動に時間がかかる場合があります。移動車両、回収車両の時間的制約についての抗議は受け付けません。できるだけ、選手個人の車両を移動用、回収用に利用されることをお願いします。車両の駐車場所などは、指示に従って下さい。